

# 事業計画

平成 28 年度

社会福祉法人原町成年寮

## 歴史検証チーム 基本理念最終提言

### 1・就労・自立生活に向けた支援

原町成年寮は、一人ひとりの自立した社会生活を実現するため、  
多様な就労・日中活動支援を行っています。

利用者の皆様が、社会の一員としての役割と責任を担いつつ、  
活躍し成長して頂けるよう、日々支援しています。

### 2・豊かな人生を送る事への支援

原町成年寮は、健康で安心・安全な生活を保障し、  
利用者の皆様が望む生活の実現をサポートしています。

一人ひとりの個性を尊重し、日々の生活で豊かさを感じて頂けるよう支援しています。

### 3・地域社会への貢献をめざす支援

原町成年寮は、地域との交流や情報交換を行い、  
利用者の皆様が地域社会の一員として貢献できるよう支援しています。

## 平成 28 年度 社会福祉法人原町成年寮 事業計画

### 1 はじめに

#### ・社会福祉法人改革

今、社会福祉法人改革が国主導で問われている。社会福祉サービスに参入する事業主体が株式会社等に拡大してきたこと。社会福祉法人の不祥事や不適切な運営が増加してきたことを理由にしている。内部留保の増大も根本にあると考えるが、反対のみを唱えることなく、納税者に理解される社会福祉法人にならなければならない。そのために必要な改革を行う。

#### ・世代交代と本部移転

原町成年寮を長く支えて来ていただいた経験者が定年等を迎える年にさしかかった。このタイミングで世代交代を進める。経験を積み、原町成年寮の歴史を継続し利用者の安心安全な地域生活援助を進めていく。また本部を原町成年寮地域生活援助センターに移設し、世代交代の自覚を醸成する。

#### ・葛飾通勤寮移転

1977年に現在の葛飾通勤寮が開設されて40年が経とうとしている。老朽化と民間移譲により移転が決定された。平成29年初頭、葛飾区東堀切地区に開設される。お花茶屋を初めとして新たな地域生活援助の展開を図る。

### 2 原町成年寮の新基本理念（別掲）

### 3 利用者心得（利用者支援上の規範）

- ・はたらくことにほこりをもとう
- ・なかまにおもいやりをもとう
- ・じりつをめざしどりよくしよう

### 4 主要課題と重点施策

- ・利用者の権利擁護と虐待防止体制の強化
- ・第6次プロジェクト中間見直しに基づく取り組み
- ・人材確保・育成のための取り組み
- ・通勤寮新築移転および新就労継続支援B型の開設
- ・法人本部移転への対応
- ・危機管理意識の徹底と安心安全な生活支援・就労支援の取り組み
- ・職場環境向上のための取り組み

### 5 事業計画骨子

- ・利用者の権利擁護と虐待防止体制の強化

各事業所に虐待防止委員会を設置 啓発・防止対策に取り組む  
虐待はいつでも誰にでも起こりうるという前提のもとで、支援者が孤立しないよう  
なチーム支援体制を日常的に構築する  
利用者・家族の合意に基づく個別支援計画の作成と支援活動を実施する  
障害者差別解消法による合理的配慮に取り組む

・社会福祉法人改革への対応

法人意思決定システムの確立

新制度に対応する定款変更

新理事会及び新評議員（評議員選定委員会）今年度中選出

監査法人の選定

法人プロジェクト（法人中長期計画）による残余財産の効率的活用

福祉医療機構退職金制度変更対処

・第6次プロジェクト中間見直しに基づく取り組み

（通所事業所の再編）

生活介護事業の再編検討

シャイン従たる事業所「つむぎ」の活用方法検討

入浴サービスの検討

自閉症通所事業所検討

就労ステップシステム（就労移行・自立訓練・就労継続支援 B 型・放課後デイサービス）の構築

南葛 SC とのプロジェクト推進

新通勤寮 B 型事業所の作業プロジェクト推進

（生活事業所の再編）

あらかわセンターの移転等検討

かつしかセンターの事業所再編

通勤寮 GH チームの再編

通勤寮連携型 GH の検討

高齢化対策 GH の検討（外部サービス利用型の模索）（短期入所と緊急一時保護事業の連携と移設）

（児童対策）

児童利用計画の検討

放課後デイサービス検討

（高齢化対応の一環として成年後見制度の法人化検討）

一般社団法人設立による取り組み

・人材確保 育成のための取り組み

新人研修・フォローアップ研修・主任等研修の実施

事務局による事業執行担当配置（管理者のスキルアップ）

- 北海道伊達市に施設見学と交流実施（管理者・主任研修として実施）
- ・通勤寮新築移転および新就労継続支援 B 型の開設
  - 平成 28 年度 GH 忘年会は「立石の葛飾通勤寮お別れ会」として実施（通勤寮＋共同生活援助の忘年会＋通勤寮関連職員出席）
  - 法人書籍の出版
- ・法人本部移転への対応
  - 法人書庫の確定と移設
  - 経理部と事業部設置
  - 保護者会との連携方法検討
- ・危機管理意識の徹底と安心安全な生活支援・就労支援の取り組み
- ・職場環境向上のための取り組み
  - 給与制度改定取組み（給与検討委員会案）別紙
  - 諸規定の見直し（法人本部）
  - 法人内事業所雇用保険番号及び書式の統一化
  - ストレスチェック開始

## 6 各事業所事業計画

- ・法人本部
  - ①本部移転に伴う必要な対応
  - ②社会福祉法人改革に伴う準備
  - ③ストレスチェックの実施・職員健康診断実施
  - ④現通勤寮跡地に障害福祉サービス事業所建設の要請及び検討
  - ⑤利用者支援相談窓口の設置
  - ⑥法人内部研修（新人・フォローアップ・主任・管理者）を実施する
  - ⑦法令・規則等の職員への周知
- ・経理部
  - ①法人本部との業務分担を整理し経理部としての業務明確化を計っていく
  - ②経理規定に従った経理事務の遂行
- ・事業部
  - 葛飾通勤寮
    - 宿泊型自立訓練
      - ①通勤寮を関係機関にアピールし、利用者増につなげる。また就労移行支援事業フォレストと連携し企業就労への取り組みの強化を図る
      - ②新寮移転・就労継続 B 型事業の立ち上げを円滑に行うために、必要な内容を検討し、移行計画を作成し、着実な準備を行う
      - ③通勤寮センターの制度化である通勤寮連携型グループホームの支援内容を検討し、通勤寮移転後の開設を目指す

④職員個別育成計画により、定期的な面談を実施し人材育成を図る

#### 通勤寮 GH

①利用者が安全に安心して生活し、職場（日中活動の場）でも活躍できるように支援する

②利用者の余暇支援の充実に努める

③通勤寮、都外施設等からの円滑な地域移行を支援する

#### 新就労継続支援 B 型準備室

①円滑な事業所運営開始のための準備

②コンサルティング提携店との連携による喫茶及び製パン事業の技術習得

③利用者支援に関する施設側のコンセプトの明確化

#### 原町成年寮かつしかセンター第 1・第 2

##### かつしかセンター第 1・第 2

①人材の育成

②人権意識の育成

③身体介護度の増した利用者向け住居の整備

##### あらかわセンター

①利用者に極力配慮した移転の実行

#### GH つばさ

①受託返還検討（受託法人変更も検討）

#### 原町成年寮かつしかセンター第 3・第 4

①高齢化対策及び消防設備への対応として「東立石生活寮」の移転検討

②高齢利用者の支援の在り方模索

③内部研修を中心とした人材育成

④個別支援計画の充実

#### 奥戸福祉館

①利用者の働きがい、やりがい自己肯定感を高める支援を行っていく

②軽作業を整理し受注作業に頼らない新規作業を開拓していく

③地域社会へはパン販売活動を中心により積極的に参加をしていく

④利用者職員共に多施設見学研修、外部講師の講座、学習を積極的に行う

#### アンジュ

①利用者が安心して活動できるよう、安全で明るく清潔な環境づくり

②日中活動の充実に図り、自分の持っている力が発揮できるよう支援する

③利用者の障害特性を理解し、利用者本人が自己決定できるよう利用者中心の支援をする

④高齢化、重度化への対応を考慮する

#### フォレスト

①長期安定就労を目指したキャリア形成を支援する

- ②訓練プログラムは個別プログラム・全体プログラムを実施
- ③家庭・生活支援との連携
- ④アフターケアの実施
- ⑤地域・特別支援学校への説明会の実施
- ⑥ステップアップ就労システムの構築
- ⑦目標就職者数 20 名
- ⑧余暇支援の実施
- ⑨自立訓練を 6 名から 10 名に定員増をし、より多くのニーズに応える

#### シャイン

- ①安心して働ける（活動できる）場を提供
- ②利用者工賃アップを目指す（お惣菜・アクセサリーの販路拡大）
- ③衛生面の事故防止の強化を図る
- ④一般就労希望の方に就職の支援を行う
- ⑤従たる事業所つむぎの安定した活動の提供
- ⑥健康と栄養管理の大切さを伝えていく

#### ドロップ

- ①グループホーム利用者の余暇充実を図る
- ②高齢利用者や在宅利用者の多様なニーズに合わせた支援を行う
- ③ヘルパーの支援技術の向上を目指す

#### 糸でんわ

- ①利用計画およびモニタリングを計画的に実行する

#### 公益事業（葛飾区心身障害児者緊急一時保護事業）

- ・各事業所で委員会（担当委員）設置し担当配置（法人全体の共有課題は笹生が召集実施）

事業改善委員会・ハラスメント委員会・虐待防止委員会・リスクマネジメント委員会

苦情解決委員会・防災委員会

## 7 法人運営

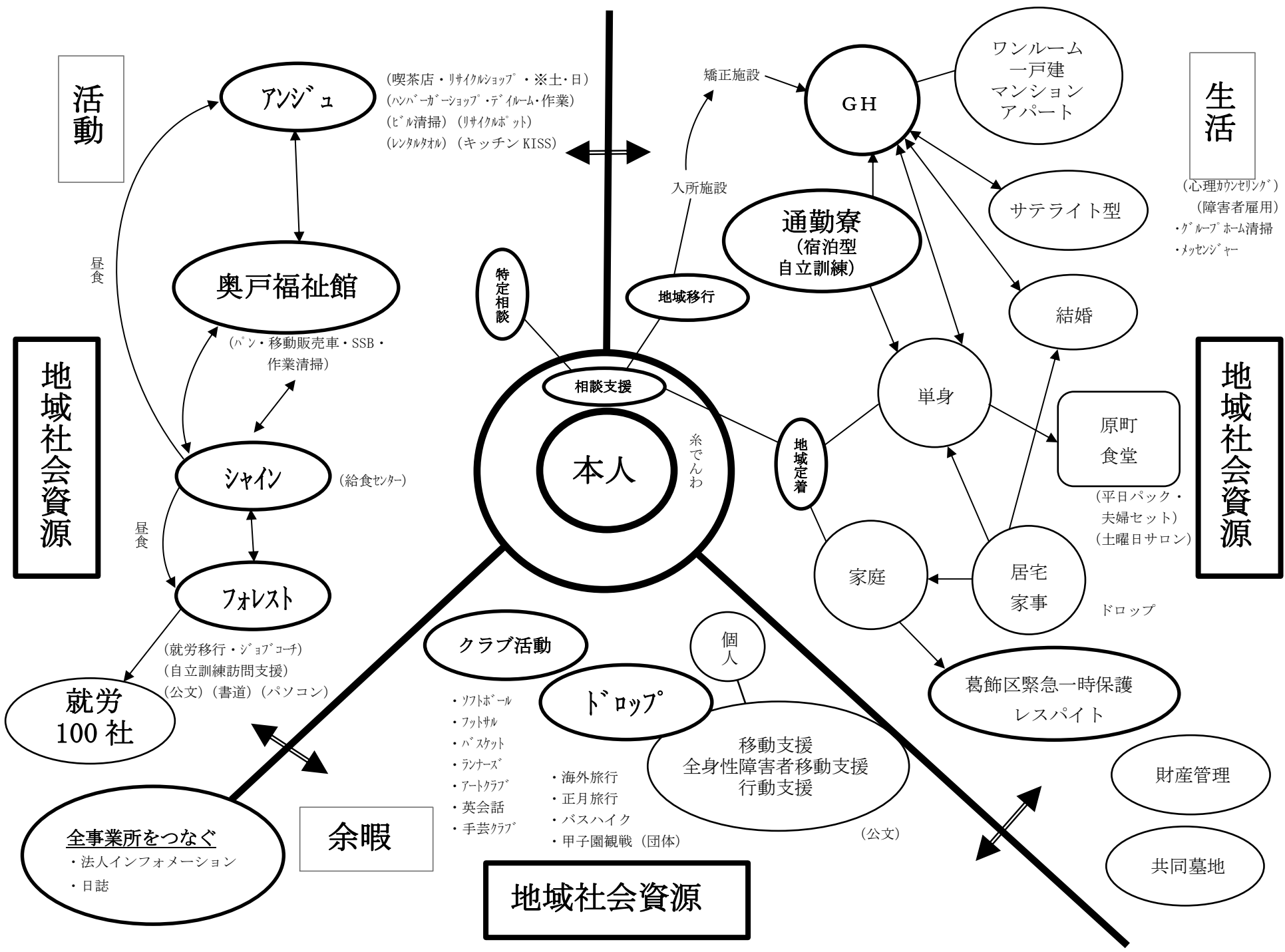
（法人委員会）

- ・理事会・理事監事
- ・評議員会
- ・事務局
- ・事業会議
- ・労働安全衛生委員会
  - 職員労働安全衛生について協議
  - ストレスチェックの実施

衛生委員会通信の発行

- 広報委員会  
法人ホームページ管理・原町かわら版
- PC委員会  
法人インフォメーション・福祉の森・PCハード及びソフト・メールリスト・VPN・複合機・電話システム・サーバー
- 研修委員会  
法人内部研修の検討  
全体研修・新人教育・フォローアップ研修・主任研修・管理者研修等
- 給与検討委員会  
平成28年度29年度にかけて給与制度の改訂検討
- 制裁審査委員会
- 苦情解決第三者委員会  
年一回法人全体の事例検討を実施
- 危機管理室（事務局）
- 災害対策室（事務局）  
（事業所委員会）
- 事業改善委員会  
事業所内で解決できない課題を年一回法人本部主導で委員会開催
- ハラスメント委員会（ハラスメント相談窓口）  
委員2名をハラスメントの外部研修に派遣して、法人内委員会に反映させる  
委員は事業所を超えて窓口として機能させる
- 虐待防止委員会  
事業所内の虐待事案の通報窓口とする  
最低年一回学習会を実施
- リスクマネジメント委員会  
事業所内のリスクに対するインシデント検証（ヒヤリハット・事故報告）  
事前に予防できる対策（リスクマネジメント）を事業所全体に反映させる役割委員  
を外部研修に派遣
- 防災委員会  
各事業所の防災対策を策定・必要な防災訓練の企画実施  
水害・地震・大規模火災・流行性疾患に対するBCP（事業継続計画）は事務局による  
危機管理室が担う





活動

生活

地域社会資源

地域社会資源

余暇

地域社会資源

本人

奥戸福祉館

通勤寮  
(宿泊型  
自立訓練)

シャイン

単身

フォレスト

就労  
100社

クラブ活動

ドロップ

個人

家庭

居宅  
家事

ドロップ

葛飾区緊急一時保護  
レスパイト

財産管理

共同墓地

余暇

地域社会資源

移動支援  
全身性障害者移動支援  
行動支援

(公文)

- ・ソフトボール
- ・フットサル
- ・バスケット
- ・テニス
- ・アートクラブ
- ・英会話
- ・手芸クラブ
- ・海外旅行
- ・正月旅行
- ・バスハイク
- ・甲子園観戦 (団体)

昼食

昼食

入所施設

矯正施設

特定相談

地域移行

相談支援

地域定着

個人

原町  
食堂

(平日パック・  
夫婦セット)  
(土曜日サロン)

(心理カウンセリング)  
(障害者雇用)  
・グループホーム清掃  
・メッセージャー

ワンルーム  
一戸建  
マンション  
アパート

サテライト型

結婚

地域社会資源

財産管理

共同墓地

全事業所をつなぐ  
・法人インフォメーション  
・日誌